

平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 アプライド株式会社
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 18,228 | 0.1 | 13 | 89.5 | 107 | 42.1 | 73 | 49.9 |
| 23年3月期第3四半期 | 18,245 | 15.3 | 128 | | 185 | | 146 | |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 77百万円 (48.3%) 23年3月期第3四半期 150百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 54.47 | |
| 23年3月期第3四半期 | 108.71 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 11,947 | 3,543 | 29.0 |
| 23年3月期 | 11,673 | 3,574 | 30.0 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,469百万円 23年3月期 3,507百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | | 30.00 | | 50.00 | 80.00 |
| 24年3月期 | | 30.00 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,273 | 14.0 | 100 | 66.0 | 130 | 66.0 | 90 | 56.9 | 66.61 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項 (3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期3Q | 1,351,600 株 | 23年3月期 | 1,351,600 株 |
| 24年3月期3Q | 398 株 | 23年3月期 | 398 株 |
| 24年3月期3Q | 1,351,202 株 | 23年3月期3Q | 1,351,220 株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|--------------------------------------|---|
| 1 . 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2 . サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3 . 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から時間の経過とともに復旧・復興などの回復が一部見られたものの、欧州財政危機、タイの洪水や円高への懸念から、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、これまで培った商品力・技術力・提案力を活かし、他社との差別化を行い、個人および法人の顧客層の幅を広げ、事業の拡大を推進いたしました。

店舗展開におきましては、専門店としての差別化を推進し、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」15店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を展開いたしました。

法人顧客向けにおきましては、プライベートブランド製品やスポット商品の仕入れに注力し、卸販売の拡大を強力に推進いたしました。また、大学、官公庁に対する営業の充実を図り、年度末の需要に対する体制強化を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は182億28百万円、利益面におきましては、経常利益は1億7百万円、四半期純利益は73百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、専門店として、商品の品揃えと技術サービスの提供に注力し、顧客の増大を図り、売上高は174億19百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は、美容家電を主体としたプライベートブランド製品を中心として、通販・卸売業の販売に注力し、売上高は5億75百万円となりました。

出版・広告事業は、情報誌の出版に加え、グループ全体の持つ強みを活かした企画本の発行により、顧客満足の追求を図る一方、デジタルサイネージレンタル事業や代理店事業の強化により、売上高は2億33百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億73百万円増加し、119億47百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加6億51百万円と現金及び預金の減少1億25百万円、有形固定資産の減少1億17百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億5百万円増加し、84億4百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加4億66百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、35億43百万円となりました。これは主に、配当金の支払等で利益剰余金が34百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、29.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では平成23年5月13日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社グループにおける商品及び製品の評価方法については、従来、当社及び株式会社コムロードを除いた連結子会社は先入先出法、株式会社コムロードは売価還元法を採用していましたが、当連結会計年度から主として先入先出法に変更しております。

これは、購買業務の合理化のために、株式会社コムロードがパソコン事業の店舗業務をPOSを含めて当社と同一のシステムへ移行したことに伴い、同事業では、当社と同一の評価方法を採用することが可能となったことによるものであります。

当該会計方針の変更は、上記のシステム移行に伴うものであり、株式会社コムロードでは先入先出法を算定するために必要なデータが保存されていないことから、遡及適用の原則的な取扱いが実務上不可能であります。このため、前連結会計年度末の商品及び製品の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたって先入先出法を適用しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,205 | 1,079 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,481 | 1,441 |
| たな卸資産 | 2,490 | 3,142 |
| その他 | 386 | 375 |
| 貸倒引当金 | 10 | 9 |
| 流動資産合計 | 5,552 | 6,029 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,938 | 1,874 |
| 土地 | 2,481 | 2,481 |
| その他(純額) | 202 | 149 |
| 有形固定資産合計 | 4,622 | 4,504 |
| 無形固定資産 | | |
| | 23 | 18 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1,173 | 1,099 |
| その他 | 301 | 296 |
| 貸倒引当金 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産合計 | 1,474 | 1,394 |
| 固定資産合計 | 6,120 | 5,918 |
| 資産合計 | 11,673 | 11,947 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,646 | 1,892 |
| 短期借入金 | 1,100 | 800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 562 | 738 |
| 未払法人税等 | 21 | 5 |
| 賞与引当金 | 169 | 84 |
| ポイント引当金 | 56 | 67 |
| その他 | 898 | 815 |
| 流動負債合計 | 4,455 | 4,403 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,776 | 3,243 |
| 長期末払金 | 403 | 403 |
| 退職給付引当金 | 234 | 226 |
| 負ののれん | 89 | 44 |
| その他 | 140 | 83 |
| 固定負債合計 | 3,643 | 4,000 |
| 負債合計 | 8,099 | 8,404 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 381 | 381 |
| 資本剰余金 | 403 | 403 |
| 利益剰余金 | 2,733 | 2,699 |
| 自己株式 | 0 | 0 |
| 株主資本合計 | 3,518 | 3,483 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10 | 14 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10 | 14 |
| 少数株主持分 | 66 | 74 |
| 純資産合計 | 3,574 | 3,543 |
| 負債純資産合計 | 11,673 | 11,947 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 18,245 | 18,228 |
| 売上原価 | 13,141 | 13,236 |
| 売上総利益 | 5,104 | 4,991 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,975 | 4,978 |
| 営業利益 | 128 | 13 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 8 |
| 協賛金収入 | 31 | 53 |
| 負ののれん償却額 | 44 | 44 |
| その他 | 49 | 42 |
| 営業外収益合計 | 134 | 147 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 56 | 52 |
| 為替差損 | 15 | - |
| その他 | 6 | 1 |
| 営業外費用合計 | 77 | 54 |
| 経常利益 | 185 | 107 |
| 特別利益 | | |
| 償却債権取立益 | 13 | - |
| 退職給付制度改定益 | - | 9 |
| 特別利益合計 | 13 | 9 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7 | - |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 22 | - |
| 特別損失合計 | 30 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 169 | 116 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16 | 22 |
| 法人税等調整額 | 1 | 12 |
| 法人税等合計 | 17 | 34 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 151 | 81 |
| 少数株主利益 | 4 | 7 |
| 四半期純利益 | 146 | 73 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 151 | 81 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 1 | 3 |
| 四半期包括利益 | 150 | 77 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 145 | 69 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4 | 7 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。